

足利の工場

栃木県足利市

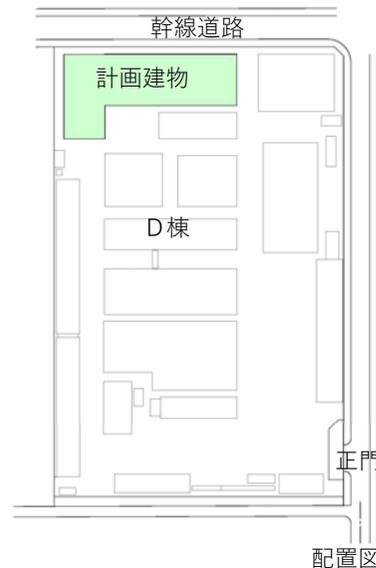
設計監理 / D A N 総合設計
施工 / 石川建設



外観



ピロティー (夕景)



平面図

建築計画

プラスチックの成形加工を主な生業とする吉田プラ工業株式会社/足利吉田工業株式会社にとり、新規分野の蒸着工程を工場に取り入れる念願のプロジェクトであり、1968年より稼働する足利工場。この計画地内には27棟もの建物により工場内のラインを構成している。時代の要請から更新・強化を行うことによりの工業団地内の周辺の企業・風景に活気と影響を与える事業でもある。

主な機能としては、成形後のプラスチックの塗装を行う「蒸着作業エリア」、仕掛け品などの保管を行う「倉庫エリア」、荷ほだき、一時保管を行う「ピロティー」にて構成されている。

新しい工場像・企業イメージを目指して

この建屋は、周辺環境に対して一番のアピールになると考え工業団地の幹線道路に一番近い位置に配置計画を行った。新たな工場イメージに代わることを願い、昨年に建設をしたD棟のデザインを踏襲し計画を行った。

外壁にはガンメタリックのサンドウィッチパネルを配置し、通りに対して水平を強調するように企業カラーであるイエロー・ブラックのラインを取り入れた。外壁には内照式の企業ロゴを配置し、車の通りの多い幹線道路・周辺環境へのアピール、工場に勤務する職員が誇れる風景の獲得にも成功している。

コミュニケーションを誘発する16m×18mの「ピロティー」

建物の入り口に16m×18mの大型ピロティーを配置した。このピロティーの機能は荷ほだきや一時保管の機能はさることながら、新たな作業ラインと工場全体のラインと緩やかにつなぐ役割を持っている。

時には滞留できるスペースとなり、ちょっとしたイベントなども企画することが出来るかもしれない自由度の高いスペースとなっており、工場に勤務する職員のコミュニケーションの場としても重要な役割を担っている。



D棟



ピロティー



倉庫エリア